

テレホンサービス

情報日

- 1～4 石油製品の価格動向
- 4～7 消費生活相談事例
- 7～10 アクセサリーの手入れ方法
- 10～13 なのの買い方、使い方
- 13～17 消費生活相談事例
- 17～20 石油製品の価格動向
- 20～25 観光土産品の表示に関する公正競争規約
- 25～28 生産生活相談事例
- 28～ 電気毛布の使用上の注意

ダイヤルしましょう
025216717000

消費生活情報

傘は性能も考えて

傘は水もれせず、軽快、丈夫でさびないことが基本です。フレーム・生地、材質、開きやすさなどの機能面も考えて選びましょう。

●傘の選び方

- ◇先端の骨が集まった部分(上ロクロ)がぐらつかないものを。
- ◇手元は故障の多い箇所。ガタつかないか。
- ◇生地のたるみ、はり過ぎがなく縫い目が密で、ナイロンよりポリエステルの方が丈夫です。
- ◇品質表示、JUPAマーク(品質保証マーク)を確かめましょう。
- 長持ちさせるにはぬれた傘は柄を下にして必ず陰干しにして生地表面の樹脂膜を保護

することです。

児童のキャラクター商品には信頼のおけるメーカー品を選び、交通事故予防のためにも黄色、橙色を選ぶほうがよいでしょう。

お年玉つき年賀はがき発売

郵便局では、昭和五十六年お年玉つき年賀はがきを、十一月七日(金)から発売いたします。

発売するはがきは、寄附金つきが二十二円、寄附金なしが二十円の二種類です。

川口郵便局では発売枚数を、昨年とほぼ同じ枚数を予定していますが、早目にお買い求めくださるようお知らせします。

また、切手類売さばき所に限り発売以前に予約注文することができますので、お近くの売さばき所に早目にお申込みくださることをおすすめしております。

三種混合予防接種

11月12日(火) 13時30分から
福祉センター

糖尿病教室

11月14日(金) 9時30分から
福祉センター

11月20日(木) 13時30分から
末広荘

(14日は3回目、20日は4回目)

循環器検診と事後指導会

11月22日(土) 9時から
福祉センター

胃の集田検診

11月25日(火) 田麦山児童館
26日(水) 福祉センター
27日(木) 福祉センター
28日(金) 福祉センター

※胃ガンは早期発見が第一です。年に一度は必ず胃集団検診を受けましょう。

妊産婦指導とミルクの支給

11月6日(火) 13時30分から
福祉センター

乳児検診

11月7日(金) 13時30分から
福祉センター

対象児(55年2・3月)出生児
55年7・8月)出生児
母子健康手帳持参願います。

今月のキケン物収集

11月11日(火) 町内全歳
25日(火) 町内全歳

インフルエンザ予防接種

11月4日(火)	14時～14時30分	泉水小学校児童
5日(水)	14時～15時	川口小学校児童
10日(月)	14時～14時30分	田麦山小学校児童 田麦山保育所園児
"	15時～15時30分	木沢小学校児童 木沢保育所園児
11月19日(木)	13時30分～14時	東部保育所園児 西川口保育所園児
11月27日(木)	14時～15時	川口中学校生徒

防火管理者資格付与講習会

事業所などで有資格者のいないところは是非受講を講習期日 11月11日(火)12日(水)の2日間
講習会場 小千谷市農業管理センター
受講費用 テキスト代他 2,500円(申込時納入)
その他 詳しくは消防署川口出張所へ ☎2111

人口	6,729人	昭和55年10月1日現在
男	3,282人	
女	3,447人	
世帯数	1,527戸	



広報かわぐち

No.85
昭和55年
発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場企画課
(〒949-75 ☎025389(代)3111)

川口町農業振興まつり

広報 活力ある豊かな農業の町の

町財政は順

歳入 2億3,026万円
 歳出 2億1,281万円
 差引 1,745万円繰越

国民健康保険 特別会計
 前年度までの受診率、医療費の推移を考慮して保険料を十五・二パーセントアップして運営にあたった結果、歳入歳出差引額は千七百四十五万円、実質収支でも同額の黒字を計上しました。
 しかし被保険者の十・九パーセントを占める老人の医療費が、医療費全体の三十二・四パーセントと大きなウエイトを占めていることや、高額医療費にあっては、前年度対比で三十六パーセントと大幅な増加があるなど将来とも予断を許せない状態が続くものと予想されることから国民健康保険運営は更に慎重に取り組みこととしてい

歳入 1億5,259万円
 歳出 1億3,858万円
 差引 1,401万円繰越

簡易水道事業 特別会計
 歳入歳出差引額で一千四百一十五万円、実質収支でも同額の黒字を計上しました。
 決算規模の比較では歳入で六十一・五パーセント、歳出で五十七・九パーセントと大幅な伸びとなり、これは田麦山簡易水道水源増設改良事業と東部簡易水道配水池改良事業の実施によるものほか、給水戸数の増加と、世帯当りの給水量の増加もあり給水量は六パーセントの伸びとなりました。
 今後の対応としては、設備機械の老朽化に備えて基金の積立など長期的視野に立った施設の運営を一層すすめることとしています。

収入 9,666万円
 支出 9,851万円
 差引 △185万円

ガス事業 特別会計
 収入支出差引額で百八十四万八千円の当年度純損失を生じていますが、これはエネルギー不安に伴い原ガス購入価格が三十一パーセントと大幅に高騰したことと、原ガス購入価格の値上げ時期から約二か月遅らせてガス料金の改定を行い、前年度繰越利益剰余金を需要家へ還元したことによるもので、当年度純損失に前年度繰越利益剰余金を充てた結果、当年度未処分利益剰余金は百八十八万三千円の黒字となりました。
 決算規模は、前年度と比較して収入で七十九・五パーセント、支出で七十三・一パーセントと大幅に増加しており、これは八郎場ガス供給事業と道路工事による導管の布設替え工事が大きな要因です。

収入 2,751万円
 支出 2,276万円
 差引 475万円繰越

農業共済事業 特別会計
 収入支出差引額で、農作物共済勘定では四百六十九万四千円、蚕繭共済勘定では五万八千円、家畜共済勘定、業務勘定では収支同額となり計四百七十五万二千円の黒字を計上しました。
 決算規模の比較では収入で一・五パーセント増加、支出では九・八パーセント減少しました。
 これは水田利用再編対策、養蚕農家及び畜産農家の減少など農業政策の転換期にあり厳しい環境を反映していると考えられます。
 この決算の中で、支出額が大きく減少しているのは災害などによる農作物の被害が少なかったことが要因と考えられます。

調に改善



昭和54年度一般会計決算

川口町の昭和五十四年度会計決算が九月議会に上程され、青柳町長は町財政状況が五十三年度、五十四年度の二年間で急速に改善しつつあることを報告し、今後も町民の理解と協力を求めました。

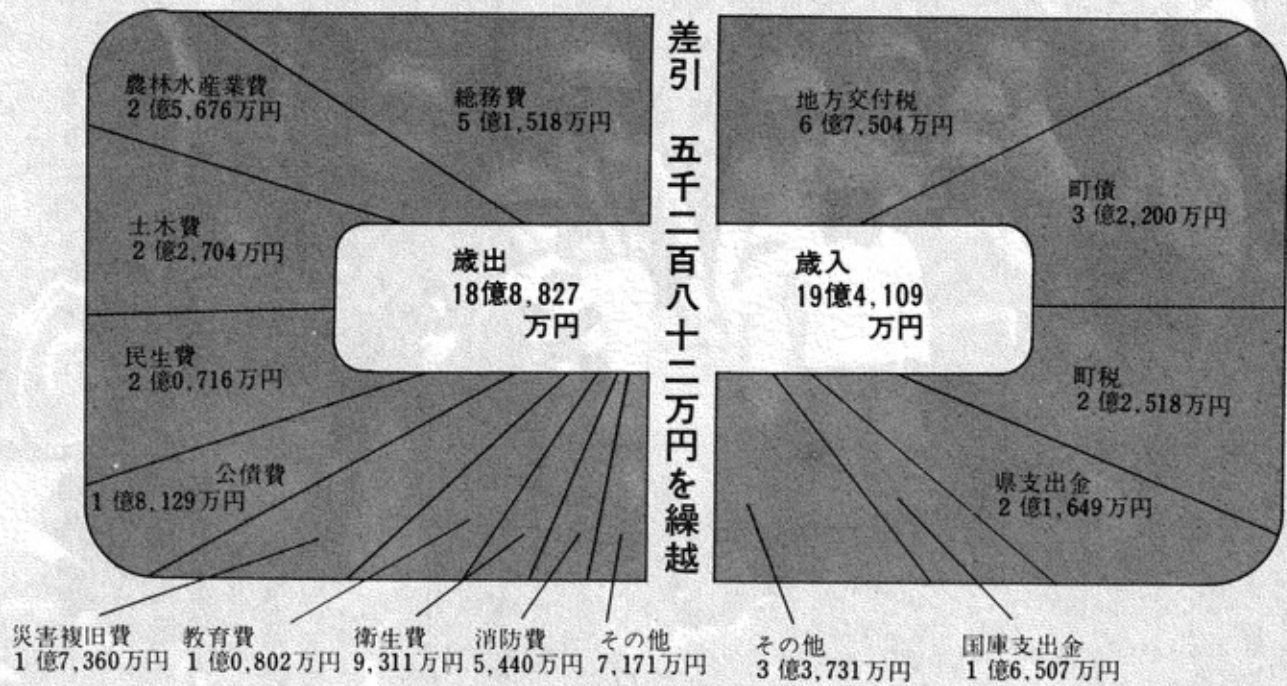
川口町の決算状況は、起債による事業を極力抑えて、国県補助金の積極的導入を図る施策の成果が大きくあらわれ、諸計数は急速に改善の方向を示しています。

人件費の節減
 人件費については、かつて歳出額の四十四・一パーセントと異常に高い比率であり財政硬直化の原因となっていました。本年度決算では五十二年度決算と比較して十一パーセント、構成比率で約四分の一低い三十三・一パーセントとなり人件費の占める割合は正常となりました。

経常収支比率の好転
 経常収支比率については八十六・七パーセントを占めており、県当局から厳しい財政指導を受けていましたが、本年度決算では七十三・五パーセントと大幅にこの割合を低下させることができました。
 このことにより町財政構造は弾力性を持つ正常の構成比率となり健全性を維持でき将来に明るい希望の持てる状態となりました。

基金積立て
 九千二百七十余万円
 また基金積立金については一般会計では財政調整基金に千四百五十八万円、減債基金に三千五十八万円、土地開発基金に二百二十八万円、義務教育施設整備基金に三千二百六十万円を、特別会計では国民健康保険特別会計で保険給付準備基金に六百八十八万三千円を、簡易水道事業特別会計では水道事業運営基金に六百十三万三千円を、総計では九千二百七十一万二千円とかつてない多額の基金積立てを行い、各種事業に備えており今後さらさらこの方針を強力に進めていくこととしています。

会計監査に高い評価
 会計監査委員会からは、監査の結果が細部にわたり報告され、この中で町当局の苦心、努力の程を認めて、支出の厳しい査定、諸経費の節減など諸事項の効率的運営に高い評価がくだされました。
 町議会においては決算書類を細部にわたり慎重に審査した結果、満場一致でこれを認定しました。



「活力ある豊かな町づくり」を目指して 地域農政移行基本構想を発表

町では、四月から準備を進めてきました地域農政移行の基本構想が、このほどまとまり「活力ある豊かな町づくり」というタイトルの冊子にまとめて、秋の農業振興祭りにあわせて町内全農家に配付しました。

構想の策定にあたっては、町長が四人の議員で構成する「川口町地域農政移行審議会」を設置して調査研究を進めるとともに、県下でもめずらしい「地域農政移行調査室」を役場内に開設し、町、県農業改良普及事務所、農協の職員等で各専門の分野で研究するプロジェクトチームを結成して、数回の審議を重ねて完成したものです。

「近年農業を取りまく環境は誠に厳しいものがあります。即ち米過剰の事態が今後相当長く、しかも厳しさを加えながら続くことを考えますとき、私はいかなる事態にも対応できる農業経営に体質を強化するために、

一、農業基盤と農村環境の整備を急がなければならないこと。
二、地域農政の確立をはかること。
三、農業基盤と農村環境の整備を急がなければならないこと。
二、地域農政の確立をはかること。
第一点については、農村基盤総合整備事業の西倉地区、上川地区の実施、農村地域定住促進対策事業、農業基盤村落特別対策事業の導入等極めて順調なテンポで進展をしておるところであります。第二点の地域農政の確立については、極めて至難な問題であります。したがって、町に地域農政

構想の概要は次のとおりであります。

構想の基本的な考え方

農業をとりまく、きびしい環境の中で、千九百八十年代の農業は大きく変わろうとしている。これからの農業の発展は、農業者自身が「農業を守る」ための創意と工夫によって、新しい時流に対応できる感覚を備えた農業者であることが必要である。

一、集落機能の強化

◎集落機能の強化と農業組織の改善

農業、農村の健全な維持発展を図り、活力ある町づくりを進めるために集落機能の強化と組織づくりが必要である。このことから、従来の推進活動に加えて新たに集落を単位とした

このため、①集落機能の強化、

・きのこ類は、一般消費の拡大から重点作目として期待できる。

資金対策

これからの農業に、正面から取り組む農業経営の改善を行ない、企業の経営を目指すには、それに応じて資金を要することとなり、次のような制度資金や県単融資の活用を図るよう推進する。

- ・農業近代化資金
- ・農林漁業金融公庫資金
- ・農林水産業振興資金
- ・農業改良資金
- ・総合資金
- ・農家生活改善資金
- ・農業者年金基金

複合営農の推進

農業経営環境は、米の生産過剰など厳しい状況にあり、米を基幹としながらも、畜産、養蚕、園芸、きのこを重点作目としながら、農業経営の安定を図る。

選定の考え方

・米は農業経営の基幹作目であり、今後も受委託による経営規模の拡大により、専業経営も期待できる。
・養蚕は、既存桑園の再編成と未利用地この桑園造成による規模拡大と多回飼育による生産量の増大により、複合経営への誘導が期待できる。

・畜産は、一部多頭化による専業経営が考えられるが、地域や経営環境に適した水稲、養蚕等との複合経営が期待できる。

・園芸は、特産物の開発・集団産地の育成・生産技術の向上等により生産・出荷体制の確立を図ることによって、複合経営が期待できる。

移行調査室を開設するほか、プロのメンバーによる地域農政移行審議会の設置、並びに県農業改良普及事務所、町農協指導部による地域農政移行プロジェクトチーム結成等各分野にわたり調査研究を重ね発表の段階にこぎつけたものであり、基本的な考え方はあくまでも「農業も企業である」ということで、企業の開始はまずネットワークに挑戦することにあります。

気候のネック、資源資金調達のネック等困難を解決したり、人の出来ないと思われていることをやりとげ乗り越えて行くことは、すばらしい成功につながるものであります。

農業を他産業並の企業と心得て創意と工夫をこらし、日進月歩の技術革新と経営の合理化に心をくだし、有利と見れば借金もいとわず企業リスクを賭けても勝負する、将来の需給予測を先取りし市場動向に鋭い神経を働かせ、消費者のニーズを満足させつ、利幅の拡大を追求するという、近代感覚を備えた新時代の農業者、このような性格をもった農業をプロフェッショナル農業といえます。これからはプロ農業者の意識に

③利用施設の強化と利用組織整備
④共選、共販体制の確立と強化
具体的には、農村基盤総合整備新農業構造改善事業等により、当面次の事業を実施する。

近代化施設事業

- ・経営近代化施設の導入
- ・育苗施設
- ・農業振興事業
- ・家畜の産地指定推進
- ・生産総合振興の推進
- ・野菜指定産地化の推進
- ・養蚕振興(一、二、三)運動の推進(一)割増反(二)割増地(三)割増肥)
- ・培養、種菌センターの推進
- ・食用魚養殖の育成強化
- ・重点作目の推進強化
- ・農用地有効利用増進制度の活用
- ・農産物の集出荷と販売
- ・生産物を有効に販売するため、市場の情報収集につとめ、共選、共販体制を整備し、価格安定制度の活用を図りながら販売体制の強化をはかる。

三、農業経営の強化

最近、米をはじめとして、農産物は、生産過剰の傾向があり、生産物価格は低迷している反面、生産資材は高騰し、農業所得が年々低下している。

- このような状況の中で、農業経営の安定を図るには、あくまで企業的な意識のもとで、
- ①農用地の有効利用
- ②農業機械の適正な導入と利用率の向上
- ③部活を基盤とした生産の組織化
- ④生産の複合化による労力の有効利用
- ⑤創意と工夫に満ちた経営の拡充
- ⑥新しい生産技術による生産費の低減
- ⑦生産水準の向上
- などの努力が望ましい。
- これに対し、次のようなことを重点において施策を推進する。
- ①経営規模の拡大に必要な用地の造成
- ②土地の貸借、受委託のあっせん

現在進めている重点事業

町が現在すすめている大きな国県補助事業は、農村地域定住促進

地域農業を振興するために次のこととを考慮しながら推進を図る。

- ・集落内における問題点の集約
- ・集落及び集落リーダーの活動に対する濃密指導
- ・営農活動の促進と研修・指導会等の強化
- ・地域共同体機能の強化と施設の充実

特に農業組織づくりには、リーダーの養成等が必要であることから農業後継者、担い手の経営基盤の強化を積極的に指導し、青年農業士、指導農業士等のリーダーの育成確保を図る。

二、農村環境の整備

農村本来の使命である食糧供給機能と自然環境の維持を基本として、生活と生産の環境を整備し、安定した健全な定住条件の整備を図り、健康の維持、増進と、農業者の福祉の向上をも推進する。

- このため、農村定住条件整備・農村基盤総合整備・農業構造改善村落特別対策事業・農村地域農業構造改善事業等の施策を展開しながら当面のこととを推進する。
- ・農業集落道整備
- ・農業集落排水施設整備
- ・農村公園緑地整備
- ・緑地等利用健康増進施設整備

農業祭りにぎわおう

川口町農業振興まつりは、総合福祉センター、農業会館を主会場に、町道前島線の一部を歩行者天国にして開放するなど楽しいアイデアを盛りこんだユニークな形で開催されにぎわいました。

この農業まつりは農作物の収穫を喜び、町の基幹産業である農業の振興をはかるために農家の方から楽しい一日をすごしていただくとうと毎年計画しているもので、今年も十回目をかぞえました。



好評だった産地野菜直売会

優良農家を表彰

- 水稲部門**
 - 最優秀賞 岩出原 岡村 慎成
 - 優秀賞 岩出原 岡村 憲助
 - 優良賞 川岸町 中林 政美
 - 岩出原 山田 善夫
 - 相川 広井新太郎
 - 岩出原 星野 誠
- 園芸特産部門**
 - 西川口水稲育苗組合
 - 川口町青果物出荷組合
 - 川口町キノコ生産組合
- 畜産部門**
 - 牛ヶ首 星野 淳作
 - 奨励賞 岩出原 岡村 正高
 - 上質豚出荷賞 小和北 関口 敏夫
- 養蚕部門**
 - 高効率養蚕共進会
 - 最優秀賞 野田 古田島勝司
 - 優秀賞 竹田 渡辺 政雄
 - 優良賞 下村 龍辰 健吉
- 技術奨励賞**
 - 川口町青果物出荷組合
- 園芸奨励賞**
 - 川口町キノコ生産組合
- 経営改善奨励賞**
 - 西川口水稲育苗組合



農業青年の部

泳ぐ宝石 錦鯉品評会

農業振興まつりの協賛行事である錦鯉品評会は、役場前駐車場で



開かれ大勢の見物で賑わいました。この日出品された錦鯉は百七十一匹、生産者自慢の泳ぐ宝石が、その美しさを競い見る人を取りこみしていました。

今年は天候不順で成育も遅れがちですが、養鯉家の熱心な飼育管理により、ますますのびのびと育ちました。

- 総合優勝** 宮 信治
- 最優秀賞** 宮 政一
- 一等賞** 一部 宮 真五郎
- 一部 星野修一郎
- 二部 宮 政一
- 三部 須田 正之
- 四部 小林 孝
- 五部 星野 正晴
- 六部 渡辺 一

- 特別賞**
 - 新潟県経済連
 - 西川口 水稲育苗組合
 - 魚沼米改良協会賞
 - 岩出原 岡村 慎成
- 株式会社マルタニ賞**
 - 川口町青果物出荷組合
 - 長岡中央青果株式会社賞
 - 川口町キノコ生産組合
 - 北魚沼蚕糸振興協議会賞
 - 野田 古田島勝司
 - 北魚沼畜産連賞
 - 小和北 関口 敏夫

教育委員会委員

山田彦作氏



町の教育委員会委員に山田彦作氏(中新田・六十一歳)を選任しました。

教育委員は任期四年の委員五人のうち、毎年一人または二人を改選するシステムになっており、今回は任期の満了した関誠一郎氏の後任に九月定例会議で山田氏の選任が同意されたものです。

山田氏は町職員として三十年余り勤務、退職後は人権擁護委員、農業委員会委員、農協理事などを歴任、その手腕は高く評価されており活躍が期待されています。

国定資産評価審査委員に

小西登久二氏



町固定資産評価審査委員会委員に、小西登久二氏(荒屋・四十八歳)を選任しました。

固定資産評価審査委員とは、土地、家屋などの固定資産評価について異議の申し立てがあったときに、その評価が適当であるかを審査する機関で、地方税法の規定によって設置しているもので町には二名の委員がおり、その一人が任期満了となり九月定例会議で小西氏の再任が同意されたものです。

小西氏は社会教育委員、公民館運営協議委員などを歴任しています。

川口町に感謝状

これは川口町の長年にわたる鉄道除雪に対する、除雪体制の確立や、特に豪雪時に対する機敏な対応について、長野鉄道管理局開設三十周年記念にあたり長野鉄道管理局長から感謝状が贈られたものです。

町内には二つの除雪組合があり、組合員は三百三十名余り、近年は組織人員の高齢化がすすんでいるものの、動員力と、手際の良い作業には定評があり、近隣の除雪組合をしのぐ

住宅に一人暮らしが出来ます。

公営住宅法の一部改正にともなって、川口町営住宅に入居することのできる範囲が拡大され、単身者であっても次に該当する方は十一月一日から入居することができるようになりました。

- 一、六十歳(女子については五十歳)以上の方。
- 二、身体障害者手帳の交付を受けている方で、身体上の障害の程度が身体障害者福祉法施行規則に定める一級から四級までの方。
- 三、戦傷病者手帳の交付を受けている方で、身体上の障害の程度が恩給法に定める特別項症から第六項症まで、及び第一款症の方。
- 四、原子爆弾被害者の医療等に関する法律の規定による厚生大臣の認定を受けている方。
- 五、生活保護法による被保護者。
- 六、海外からの引揚者で本邦に引揚げた日から起算して、五年を経過していない方。

詳しくは、建設課までお問い合わせください。

国勢調査

ご協力ありがとうございました

10月1日現在で実施されました昭和55年国勢調査にあたりましては、町民の皆様をはじめ、指導員、調査員から絶大なご協力をいただきありがとうございました。

記入いただきました調査票は先般県統計課において審査のうえ受領していただきました。11月下旬には国に提出され12月には速報人口が公表される予定です。

表彰状

川口町商工会

食肉加工は組織運営と経営改善が重要であり、優良企業は他の模範となるべきです。川口町商工会は、法律の施行及び経営改善普及事業の発足二十周年を記念して表彰します。

町商工会にも表彰状

川口町商工会(古田島慎勇会長、会員三百四十名)は、商工会法施行二十周年記念新潟県商工会大会で、東京通商産業局長から表彰を受けました。

県内には百四の商工会があり、この中で川口町商工会は商工業者の組織率ではトップクラスにあり、会員への経営指導、経理帳簿の記入指導など商工経営の根幹をなす分野での指導に高い評価が与えられたものです。

小雨ほどよし楽しく競う 地区運動会

秋たけなわのスポーツシーズン、町内各地各所にぎやかな声援が聞こえました。

スポーツはとにかく参加することが大切です。精いっぱい走り、一緒に汗を流せば心はうちとけ素晴らしい仲間ができます。

らしい仲間ができます。

西川口地区大運動会、田麦山地区運動会が10月12日、時おり小雨のばらつくなかで盛大に行われました。

山ノ相川岩出原チームに
— 西川口地区大運動会 —
西川口地区大運動会は、延べ千八百人余りの大選手団を動員して川口小学校グラウンドで盛大に行われました。
競技は八チームにより最後までシソーゲームを展開、山ノ相川岩出原チームが荒屋チームを振り切り連続優勝を果しました。
今年、絶対的な強さを誇る、綱引きの中野チームが西倉チームに敗れ、又百足リレーの岩出原が敗れるなど波乱まじりの大会となり会場を沸かせていました。
ジャンケンリレーや水くみりレールはどのチームが勝つか最後までわからないため、特に応援している人達の歓声を誘い楽しい種目であったようです。
また今年、特にお年寄りと小学生でリレーするまじりリレーや



田麦山小学校百周年を記念して始めたこの運動会も、今年で八回

ゲートボールをあしらった若返りレースなど老人バワリの活躍がなかなか好評でした。
この大会は西川口住民全てが参加できる総合レクリエーション大会として今年で第六回目を迎え、地区の人達にすっかり定着し、地区民の融和を第一の目標にあげ、家族ぐるみで参加するということ、スポーツの町にもっともふさわしい大会ではないかと思えます。
地域スポーツ推進員 山田功

混成チームねばり勝ち
— 田麦山地区運動会 —

軟式野球 川口クラブ中越大会で奮戦

新潟県軟式野球連盟主催による第六回新潟県都市対抗軟式野球中越大会に、魚沼地区大会で勝ち抜いて地区代表として出場した川口クラブは、強剛ひしめく中越勢と互角に対戦し準々決勝では小千谷代表の舟渡クラブを相手に延長十二回阿部修一選手の絶妙なヒットにより決勝点をあげ準決勝戦に臨みましたが、オール三條に惜しくも敗れ県大会への切符を手



活躍したナイン
(十月五日 加茂市宮球場にて)

目を迎える年々充実した運動会となってきました。
四チームに分かれての競技は、日頃密かに練習を重ねた成果があちこちに見られ、各種目に接戦が繰りひろげられました。
中には反則で失格となる選手が出るほどのハッキリ姿もあり応援団からはゆかいな援護射撃もとび出して地区民総出の楽しい運動会となりました。
今年、小高地区の善戦が目立ち前半は健闘しましたが、優勝は田中・大谷内の混成チームに渡りました。

せんでした。
この大会は県下軟式野球大会の中でも各チームが最も力を入れて臨む大会で、各チームのレベルは高く今大会で雪深い魚沼地区代表の川口クラブが準決勝戦に進出したことは高く評価されました。
川口クラブでは、川口町運動公園の野球場が使用開始される来季は必ず県大会に出場する、と今から体力と技に一層のみがきを入れようと毎日練習に励んでいます。

光る汗 熱烈な声援

運動公園竣工記念行事

二市三郡陸上競技選手権大会 いま一歩力およばず



魚沼地域の陸上競技愛好者が、日頃の鍛錬の成果を発揮し、技術の向上と友好親善を深めようと行われた、第二十二回二市三郡陸上競技選手権大会は、完成間もない川口町運動公園多目的広場で選手役員四百人余りが集まり、各市町村教育委員会、陸上競技協会主催、新潟日報社後援により中学の部、高校の部、一般の部に分かれて盛大に実施されました。当町でこの大会が実施されたのは初めてであり町教育委員会をはじめ陸上競技協会では早くから準備を行ない競技運営に万全を期した結果、好記録が続出し、大会記録も数多く更新しました。
川口町から参加した選手はもう一歩力が出しきれず惜しくも入賞をのがす試合が続出しましたが、

施設も完備し今後の活躍が期待されます。
この日参加した役員、選手からは、運動公園施設に高い感心と熱い視線が集まり、また運営面でも従来の型に一層の趣向が凝らされ健康と心のふれあうスポーツの町宣言にふさわしい大会となりました。
川口町からの入賞者
▽中学の部男子
四位 中沢 誠君
四位 小川正樹君
四位 丸山峰一君
▽中学の部女子
四位 小見千代子さん
▽一般の部男子
六位 小笠原秀夫さん
二位 小笠原秀夫さん

体育の日町民球技大会

優勝は 東部地区館 川口中学校卓球部



町民の体位向上と親睦を図ろうと、毎年体育の日を実施しているバレーボールと卓球は、今年も多くの若者が参加し、試合も後半に入ると、つれて気力むき出しの手に汗にぎる素晴らしい試合となり体育の日にふさわしい一日となりました。

バレーボール
男子六人、女子三人の混合九人制で実施され優勝は昨年につづいて東部地区館の手に渡りました。
優勝 東部地区館
準優勝 和南津地区館
三位 泉水地区館



卓球は現役の中学生に

高レベルの接戦を展開

あなたです！火事を出すのも防ぐのも



川口町消防団の力強い放水演習
(9月7日魚野川河畔で)

秋の火災予防運動が十一月二十六日から一週間実施されます。十月中旬までの管内火災発生は十二件、例年の三分の一程度と良好な状況です。内訳では建物火災十件、車両火災、林野火災が一件ずつと、建物火災の占める割合が圧倒的に多く発生しています。

- 川口町においては幸いにも一件の火災も発生していませんが、これからは降雪期に入り火を扱う機会が多くなります。事業所でも家庭でも更に無火災記録
- を更新するように、この運動を契機に暖房器具・風呂ガマ・ガス器具の点検をはじめ、避難口の確保、確認を充分行ない火災を出さないようにしましょう。
- 重点目標**
- (一) 焼死防止対策の徹底
 - (二) 少年消防クラブの育成強化
 - (三) 防火管理体制の整備推進
 - (四) 消防署で実施する事項
 - (五) 防火対象物の立入検査
 - (六) 危険物施設の立入検査
 - (七) 各事業所で避難訓練消火訓練
- ◆火災予防のイラストを募集しています
募集要領 官製ハガキを使用
締切 十一月二十五日
応募先 小千谷地域消防本部
(小千谷市城内町一丁目)

長寿万歳

老人福祉大会

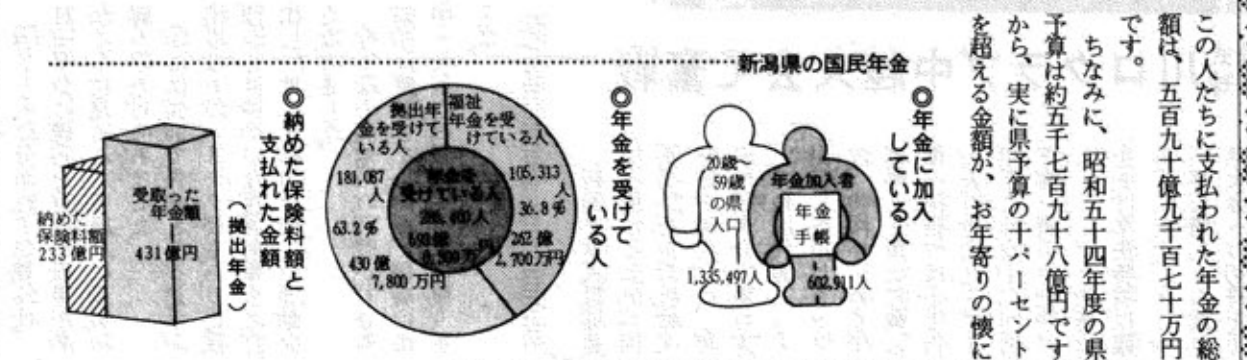
老人福祉週間の行事として行われた老人福祉大会には、四百六十人余りのおとしよりが集まり再会を喜びあいました。会場となった福祉センター体育館は、この日を待ちのぞんでいたおとしよりで満員のにぎわいをみせ、青柳町長から、町政の福祉対策についての説明と老後を心豊かに生きがいある毎日を送ってほしいと、と激励が送られました。



後も増加するものと予測されます。記念行事では、コロナー白岩の里所長花積氏の「老後をたのしく」と題する講演があり、この他にもアトラクションなど楽しい催しがありました。

私たちの暮らしと国民年金の役割

国民年金が生まれて今年で二十一年目を迎えました。今年の三月末現在で本県における国民年金の加入者数は六十万二千九百一十一人です。そして、県下には二十歳から五十九歳までの成人が百三十三万五千四百九十七人いますので、この世代ではほぼ二人に一人が国民年金の加入者ということになります。



入った勘定になるわけです。ところで、国民年金では、加入者の納めた保険料は、将来、年金を支払う時の財源(年金積立金)として大蔵省の資金運用部に預けられます。また、年金積立金の一部は、加入者や年金受給者、地域の人々の福祉の向上を図るため、病院や保育所をはじめ、プール、グラウンド、体育館、市民会館、公民館、簡易水道、老人憩いの家などの公共施設の建設資金として、あるいは個人の生活資金や住宅資金に貸出されています。

「交通安全夕暮れ作戦」



交通事故が多発する日没時間帯の交通取り締まりをする「交通安全夕暮れ作戦」が先月二十一日から一カ月間行われています。県内の交通事故は発生件数と傷者は減少していますが、死者は九

恐しいシンナー 乱用防止は皆の力で

塗料類を溶かすときに使われるシンナーや工作などに使われる接着剤には、有機溶剤といわれるトルエン、酢酸エチルなどの人体に有害な化学薬品が含まれています。「シンナー遊び」と称してこれらの臭いをかき非行が流行し、今まで新潟県では千五百人近くの少年が警察で補導され、また、これらの吸入乱用による死亡者は今までに十一人余りを数えています。更にこれが原因で罪を犯したり精神障害をおこした者も数知れず大きな社会問題となっています。脳や内臓がおかされ死亡しますガラス容器ニッポンにネズミを入れシンナー液を五、六滴たらすとネズミはたちまちめいいてい状態となり死亡します。シンナーポンドの主成分には強い毒性があるから人間がこれを乱用すると。頭痛、はき気、不眠、食欲不振、幼覚症状により物を壊すなどの乱暴をする。慢性中毒者は顔色がどす黒く、ほほがこげ目に生気がなくなる。乱用を続けると自分を押える力がなくなり犯罪を犯したり、精神障害をおこし廃人となります。羞恥心がなくなりハレンチな行為を平気でやる。などの恐しい結果を招きます。周囲の力で乱用に敵しい目を。

文化祭

文化祭は 11月2・3・4日
芸能まつりは 11月3日・川口中学校
文化の秋、ふるってご参加ください
展覧会は 11月2・3・4日 福祉センター

行事名	芸能まつり	老人クラブ作品展	菊花展	美術工作展	写真展	文化財展
期(申込)	10月24日	10月31日	11月1日	11月1日	11月1日	11月1日
期(入)	地区館迄	公民館迄	公民館迄	公民館迄	公民館迄	公民館迄
期(出)		11月4日	11月4日	11月4日	11月4日	11月4日
会場	川口中学 校体育館	福祉 センター	福祉 センター	福祉 センター	福祉 センター	文化会館
種目	民舞 歌謡 民謡 詩歌	踊曲 謡曲 吟他	自作 由品	書画 工芸	道画 作芸	自由 自由 自由 自由 自由 自由